

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	四賀バラ公園プロジェクト
事業主体 (連絡先)	四賀元気プロジェクト『四賀バラ公園実行委員会』 松本市会田 1001-1 松本商工会議所四賀支所内
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	413,350円 (うち支援金: 330,000円)

事業内容

春の福寿草と初夏から秋までのバラを通じて花の里として四賀バラ公園をマネジメントし来園者誘致を向上させ継続的な運用を目指すとともにその活動を支える人材育成を実施。

- ・スマホを使ったスタンプラリーの実施。9月～11月 エントリー222名、完走者125名
- ・バラの育て方講習会の実施。11月12日(土)理論編の座学講習会と実技指導。参加者17名



【実技講習の様子】

【目標・ねらい】

- ① バラの剪定方法を座学と実技の両方で学ぶ
- ② 活動ボランティア人材の確保
- ③ 来園者の増加

事業効果

- ① バラ講習会の開催により、花の管理等について興味を持つ人が集まり、バラ園のボランティアとしても登録者数が5名増加した。
- ② 支援金を利用したスタンプラリー(スマホ利用)を開催したことで222名のエントリーがあった。スマホを利用することで期間中何回でもエントリーができ、地図アプリと連動することで場所の特定がしやすくなり、想定以上の参加者が集まった。
- ③ スタンプラリー景品当選者が地域を再訪し地元の店舗、施設の利用が増加した。
- ④ バラ園には約6,000人が来園した。

※自己評価【B】

【理由】

- ・従来のスタンプラリーからスマホ利用で参加しやすくなったため想定数の46%増しの参加。
- ・バラ園ボランティアに新規で5名の加入

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

初年度の支援金によりハード面が整い、2年目の取り組みとしてバラ園の周知を図った結果、一定の効果が生まれた。

今後は、施設の運用と外部からの集客に力を入れ、さらに当事業が地元住民に根付き協力体制が図られるよう人材育成に取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある